



## 「リサーチセミナー」を開催しました

4月21日（土）に、第1回「リサーチセミナー」を実施しました。佐賀大学理工学部 電気電子工学科 和久屋寛先生に、「人工知能を取り巻く過去・現在・未来について ～2018年春に考える～」と題して、人工知能による避難経路探索や自己組織化マップ、ミニ四駆の制御などを題材とした研究の事例紹介、研究の意義やおもしろさ等をお話しいただきました。また、和久屋先生の研究室の学生の方からは、大学での学びや進路選択に対する考えについて話していただきました。



### 生徒の感想

- 「研究では、課題を見つけて、解決していき、また課題を見つけたらそれを解決することが大切だと感じることができました。」
- 「人工知能の発展により命はより確実に守られていくのだなと感じました。」
- 「身近にあるものに関心を持ち、問題を見つけて解決する姿勢を日常生活の中で身に着けていきたいとします。」
- 「ただひたすら研究するのではなく、どこがダメなのか問題点を探っていくことが重要だということがわかりました。」
- 「AIが発達して暮らしが豊かになると同時に収入源になる職業が減ってしまうので職の幅が広がるように今からの学習にもっと力を入れたいと思いました。」

## 「課題研究指導」を実施しました

理数科2年の学校設定科目「SSH研究Ⅱ」では、数学・物理・化学・生物・共創（社会課題解決を目指す研究分野）の5つの分野で課題研究に取り組んでいます。1年間の課題研究を通して、研究のための専門的知識と技能の習熟を図り、研究のためのチームワーク力や倫理観を高め、批判的思考力や表現力・対話力を身に付けるなど、「課題解決力」を育成することがねらいです。

5月23日（水）、7月11日（水）に、佐賀大学理工学部 電気電子工学科 和久屋寛先生、機能物質化学科 長田聰史先生、機能物質化学科 成田貴行先生、農学部 生命機能科学科 関清彦先生にお越しいただき、「課題研究指導」を行いました。



まず、それぞれの研究班が、自分達で設定したテーマや研究の進捗状況について、大学の先生に説明をしました。大学の先生からは、テーマを設定した理由や実験の具体的な方法等について、問題点の指摘やアドバイスをいただきました。

まず、それぞれの研究班が、自分達で設定したテーマや研究の進捗状況について、大学の先生に説明をしました。大学の先生からは、テーマを設定した理由や実験の具体的な方法等について、問題点の指摘やアドバイスをいただきました。